



# 燦さんらん 爛

## 「心のバリアフリー学習」を通じた車椅子バスケットボール体験教室



11月2日(木)、3年生が車椅子バスケットボール体験教室を行いました。これは、本校の「心のバリアフリー学習」の一環であり、「障がいや障がいの理解を深めるとともに、相手への思いやりや相手の立場に立った行動について考えるなどの人権意識の向上を図ること」や、「障がい者スポーツの理解推進を図ること」を目的に毎年行っているものです。



この日は、秋田県車椅子バスケットボールクラブや大仙市教育委員会事務局、大曲人権擁護委員など、多くの方が来校し、会の進行や指導をしてくださいました。車椅子に乗るのは初めての生徒がほとんどでしたが、秋田県車椅子バスケットボールクラブ代表のIさんによる丁寧なご指導によって、基礎から徐々に操作に慣れ、車椅子バスケットボール独特のルールも理解することができました。後半はミニゲームも行いましたが、大変さや難しさを実感しながらもみんな笑顔で楽しくゲームに参加していました。



車椅子バスケットボールは、夏季パラリンピックの公式競技としても知られていますが、車椅子に乗って競技を行うことで、互いに同じ条件で戦うことができるという点では、前に1,2年生が大曲支援学校の皆さんと行った「ボッチャ」と同様であり、そういったところも車椅子バスケットボールの魅力なのだろうと感じました(健常者が参加できる大会もあるそうです)。

車椅子バスケットボールクラブのIさん、Kさん、人権擁護委員の皆さんとともに、3年生の皆さんは、常に仲間同士で励まし合う姿が見られましたが、今回の体験を通して、今まで以上に人を思いやる気持ちを大切にしていってほしいと思います。

## 全県の強豪に拮抗する戦い 秋田県中学校秋季柔道大会

前号で、卓球の全県秋季大会(新人戦)の結果をお伝えしましたが、11月3日(金)、4日(土)には、男鹿市総合体育館で秋田県中学校秋季柔道大会が行われました。



1日目の男子団体は、3回戦まで勝ち進みましたが、3回戦で惜しくも敗退。しかし、その相手校がベスト4に勝ち進んだため、敗者復活戦に進むことができました。その敗者復活戦では、惜しくも敗れてしまいましたが、県内の強豪校とも堂々と渡り合っていたと思います。



2日目の男子個人では、みんな粘り強い戦いを見せ、1人がベスト8に入りました。

この2日間で全県レベルの選手たちと対戦し、その力を肌で感じることができたと思いますので、この経験をこれからの成長につなげてほしいと思います。



秋田県中学校秋季柔道大会 (11月3日(金)、4日(土) 男鹿市総合体育館)

- |         |       |              |                  |                 |
|---------|-------|--------------|------------------|-----------------|
| 男子団体    | 1回戦   | ○大曲西 不戦勝 土崎● | 2回戦              | ○大曲西 3-2 五城目第一● |
| (Aブロック) | 3回戦   | ●大曲西 2-3 城東○ | 敗者復活戦            | ●大曲西 2-3 横手南○   |
| 男子個人    | 55kg級 | K. Kさん(2年)   | ベスト8(県強化指定選手に選出) |                 |

今週は、各学年が進路に関わる行事を行いました。生徒それぞれが、自身の生き方を考えるために、各学年のこの時期に必要な情報を提供することなどをねらいに計画されたものです。

# 進路に関わる 行事を行いました

## 3年進路PTA

3年生は、11月6日(月)に「進路説明会」と「進路講話」を実施しました。前半の説明会は、生徒と保護者に対して今年度の高校入試について



の情報を提供するとともに、今後のスケジュール等について見通しをもってもらうことをねらいに行いました。秋田県の公立高校においては、昨年度から入試制度に大きな変更がなされており、その点についても詳しく説明させていただきました。



後半は、スクールカウンセラーの先生から3年生に向けて、「やる気を持続させる方法」についての講話をしていただきました。カウンセラーの先生からは、「セルフハンディキャッピング」（自分で自分にハンデを設けることで、失敗しても仕方ない状況をつくること）をせず、「自己成就予言」（先行する思い込みがその後の結果を生むことがある）するとよい、「やる気を持続させるための“始発動機”（やるぞ!）、“志向動機”（何を頑張るか）、“強化動機”（もっとやろう!）を自分で考えてみよう」といったアドバイスをいただきました。

来週からは三者面談も始まります。十分に調べ、話し合い、熟考して進路選択に当たってほしいと思います。



## 1,2年企業説明会

11月9日(木)に、1,2年生を対象とした「企業説明会」を実施しました。これは、本校と仙北地域振興局、大仙市経済産業部商工業振興課が協力して実施したもので、今回は「アゼアス株式会社(化学防護服の製造・販売)」「株式会社秋田平野製作所(金属機械加工業)」「株式会社ホクエツ秋田(コンクリート製材製造)」「自衛隊秋田地方協力本部大仙地域事務所」「一般社団法人秋田県歯科医師会(歯科衛生士)」「有限会社ふあいん(介護サービス)」の6社に来ていただき、生徒たちは、これらの企業から3つの企業を選び、説明を受けました。



平野製作所は、自社製品の实物を触らせてくださいました



ふあいんは「あえて」手作りのプレゼンにしたとのこと

9月に職場訪問や職場体験を行った1,2年生ですが、各企業の説明を聴くことで、新たな職業の世界を知ることができたと思います。このように職業から自分が学ぶべき方向性を辿ったり、地元企業のよさを知ることによって、地元への愛着を新たにしたりすることで、キャリア発達やふるさと教育の支援を進めていきたいと思っています。



ホクエツの方は本校卒業生でした

## 来年の春が楽しみです

# コメリ緑育成財団の協力で チューリップの球根植え

11月8日(水)、1年生がチューリップの球根植えを行いました。

この日は、コメリパワー大曲店からお二人が来てくださり、チューリップの特徴や球根の植え方について指導してくださいました。今回、合計290個もの球根を提供していただきましたが、用務員さんが、事前に球根の仕分けや花壇の穴開け、プランターの準備等を済ませておいてくださったおかげもあり、1年生はグループごとに手際よく作業を進めることができました。

今回の球根植えは、「コメリ緑育成財団」が行っている「コメリ緑資金ボランティア」という事業を活用して行ったものです。この事業は、学校等で行う植栽活動に、コメリの従業員の方がボランティアとして参加・協力して下さるほか、活動で使用する苗やプランター、土、肥料などを助成していただけるというものです。



来年の春、冬を越したチューリップがきれいに咲き並ぶのが楽しみです。



来年の春、冬を越したチューリップがきれいに咲き並ぶのが楽しみです。